第525号証

店頭に並ぶ暖冬の影響で値下がりしたキャベツやダイコンなどの野菜＝22日午後、東京都練馬区

規制委員長「四電心配」

伊方原発 トラブル続出苦言

四国電力伊方原発でトラブルが相次いでいることに苦言を呈した原子力規制委員会の更田豊志委員長＝22日午後、東京・六本木

定期検査中の四国電力伊方原発3号機（伊方町）で、核分裂反応を抑える制御棒を原子炉から誤って引き抜くなどトラブルが相次いだことに関し、原子力規制委員会の更田豊志委員長は22日、東京・六本木の原子力規制庁であった会見で「トラブルが続くことには何か背景がある。ちょっと四国電力を心配している」と苦言を呈した。

更田委員長は、制御棒のトラブルについて「まだ状況や原因はきちんと触れる段階に至っていない」と説明。運転停止中で核分裂を抑えるホウ酸濃度が十分高い状態だったが「高い関心を持っている」と改めて述べた。

伊方3号機の運転を差し止める広島高裁の仮処分決定を受け「司法判断に介入するつもりはない」と前置きしつつ「（新規制基準に基づき）伊方3号機の原子炉設置変更許可は十分審査しており、適正な判断だった」と強調。佐田岬半島沿岸での今後の詳細な活断層調査を求める記述があり、仮処分決定の論拠の一つとなった中央構造線断層帯長期評価（第2版）について「許可後に出たもので、新知見に当たるかを検討したが、元の判断を覆す事実ではなかった」とした。

火山の降灰には「想定を上回る降灰で全電源を失っても、四国電力から数日間は原子炉を安定した状態を保てるとの説明を受けた。大規模な降灰は長くて24時間なので直ちに原発を不安定に導くわけではないと確認している」と語った。

仮処分決定が規制委に影響するかどうかについて「直接的な影響があるとは考えていない」との認識を示した。四電に対し「自らの施設の安全を説明する機会がなかったのか、ちゃんと説明しなかったのか多少奇っ怪に思う」とし「国の要求は必要最低限にすぎない。電力各社は国のお墨付きというのではなく、自らの施設の安全性を一人称で語れるように向かうのでないか」と見通した。

（武田亮）

民3科目の平均点の差20点未満だった。理科専4科目では地学と物理20点以上の差がついた、地学の受験者が1万人る。

各試験の平均点は、200点満点の科目で国語が116・57、英語118・90。50点満点の英語リスニング社会が59・06、倫理65・23、政治・経済56・26。理科の専門4科目は物理が61・64、化学56・23、生物58・69、地学40・34。数学は数

家事・育児不十分

人 1日2時間以下

育児休業を取得中の男性の3人に1人は、家事・育児に関わる時間が1日2時間以下であることが民間の調査で分かった。家事などに不慣れだったり、目的意識が低かったりするのが主な理由。男性の育休取得が叫ばれる中、「ただ取得するのではなく、出産前に夫婦で分担方法

子どもがいる女性3899人から回答を得た。

夫が育休を取得した508人に家事・育児時間を尋ねたところ、「1時間以下」「1時間超2時間以下」が計32・3%だった。最多は3時間超5時間以下の20・9%。

自由記述では「家事をしてこ

スポーツ支える人 焦点

HP更新や「賞」創設

県民性に焦点を当てた県の認知度向上戦略「まじめえひめプロジェクト」で、

県「まじめえ

売価格を調べた。鍋物番の具材として使われるネギは平年より22%高く、1キロ当たり146円だった。ベツは34%安、ネギは14%安、ダイコンは20%安となった。

第1位の甲府市は、前年の売り率が大きかったキャベツの35%安で、

くなった。九州地方では出荷した在庫を出荷しているタマネギは4%安にとどまった。

農水省によると、昨年11月ごろから今月にかけて例年より気温が高く、全国的

れる事態となり、生産者からは「冬らしい寒さになってもらわないと困る」と、ため息が漏れる。

神奈川県の農協による

ばき切れない分は廃棄せざるを得ないのが実情だ。

ネギの産地として知られる千葉県では、昨年秋の台風被害の影響で出荷が一時

同県の農協関係者は「この先も暖冬が続けば在庫が積み上がり、価格上昇は見込めない。先行きは厳しい」と話した。

の費用を分担する方針で協議を進めていることが22日までに分かった。

関係者によると約46億3千万円のうち県が債務など